

宮崎商 初戦惜敗

中京大中京に敗れ、応援席に向かう宮崎商ナイン。甲子園



夏の甲子園 中京大中京(愛知)に3-4

宮崎商	0	0	0	0	2	1	0	0	3
中京大中京	0	0	0	2	0	0	2	0	4

第106回全国高校野球選手権大会第4日は10日、兵庫県西宮市の甲子園球場で1回戦を行い、本県代表の宮崎商は中京大中京(愛知)と対戦し、3-4と惜しくも敗れ、初戦突破はならなかった。宮崎商は四回に4安打と送球ミスなどで2点先制を許したが、六回1死二、三塁から日高有希也の犠飛、小倉侑大の適時三塁打で追い付いた。七回2死三塁から、主砲上山純平のタイムリーで逆転に成功。しかし直後に3長短打で2点を失い、ひっくり返された。

【宮崎商・橋口光朗監督の話】選手たちは粘り強くよく戦ってくれ、うちの展開でゲームを運べた。(逆転された場面は)私がもう少しうまくしてあげられれば、逃げ切れた。悔いが残る。

(詳細は11日付朝刊で)